

平成28年12月22日

於 教育委員会室

平成28年12月

大和市教育委員会定例会

大和市教育委員会

平成28年12月大和市教育委員会定例会

○平成28年12月22日（木曜日）

○出席委員（5名）

1番	教育長職務代理者	青 蔭 文 雄
2番	委 員	石 川 創 一
3番	委 員	鈴 木 勝 雄
4番	委 員	小 松 俊 子
5番	教 育 長	柿 本 隆 夫

○事務局出席者

教 育 部 長	山 崎 晋 平	こども部長	齋 藤 園 子
文化スポーツ 部 長	金 子 勝	教育総務課長	大 下 等
学校教育課長	犬 塚 克 徳	保健給食課長	佐 藤 正 美
指 導 室 長	藤 井 明	教育研究所長	竹 中 崇
青 少 年 相 談 室 長	中 村 真由美	こども・ 青少年課長	佐 藤 則 夫
文化振興課長	樋 田 久美子	図書・学び 交 流 課 長	山 崎 浩

○書 記

教育総務課 政策調整 担当係長	齋 藤 信 行	教育総務課 政策調整 担当主査	澤 村 のどか
-----------------------	---------	-----------------------	---------

○日 程

- 1 開 会
- 2 会議時間の決定
- 3 前会会議録の承認
- 4 会議録署名委員の決定
- 5 教育長の報告
- 6 議 事
日程第1（議案第58号）大和市奨学生選考審査会委員の委嘱について
日程第2（議案第59号）平成28年度大和市教育委員会表彰被表彰者の決定について
日程第3（報告第3号）工事請負契約の締結について
日程第4（報告第4号）大和市学校給食共同調理場運営協議会委員の辞職について
日程第5（報告第5号）大和市いじめ問題対策調査会委員の辞職について
- 7 そ の 他
- 8 閉 会

開会 午前10時00分

○柿 本
教育長

ただいまから、教育委員会12月定例会を開会いたします。

会議時間は、正午までとします。

前会の会議録は、署名委員の署名をもって承認されました。

今会の署名委員は、3番鈴木委員、1番青蔭委員にお願いいたします。

早いもので、今年もあと10日余りとなりました。昨日は冬至で、これから日も少しずつ長くなりますが、寒さは厳しくなっていくと思います。

本日は、平成28年最後の12月定例会ですが、任期満了となった篠田委員に代わり、新たに小松委員をお迎えして開催いたします。よろしくお願ひいたします。

では、教育長からの報告として、前回定例会以降の動きからお伝えいたします。

11月17日には、神奈川県市町村教育委員会連合会研修会を、文化創造拠点シリウスのサブホールで開催いたしました。青蔭委員におかれましては、神奈川県市町村教育委員会連合会の会長として、ご挨拶や研修会後半の進行など、大役をこなされ、お疲れ様でございました。また、他の委員の皆様も、受付や会場案内などをお引き受けくださり、ありがとうございました。

昨年度まで、本市で学校図書館スーパーバイザーをお務めいただいていた藤田利江先生にご講演いただき、おいでいただいた各市の教育委員の皆様にはとても好評であったように思います。また、シリウスの施設を見学された皆様からも、その素晴らしさに感動したとの声を多くいただきました。大成功の研修会であったと思います。

18日には、神奈川県公立小学校管理運営研究会川東地区研究大会が、シリウスで開催されました。大和市校長会は、数年をかけて研究に取り組んできたカリキュラムマネジメントに関する発表を行いました。カリキュラムマネジメントは、新しい学習指導要領でも大きく取り上げられ、考え方の中核をなすものと言われております。小学校校長会が先見の明をもって研究に取り組んできたことを、高く評価したいと思います。

19日には、大和市青少年健全育成大会が開催されました。青少年善行

ほう賞や、青少年育成活動推進者、青少年健全育成作文の表彰に続いて、代表者の作文朗読があったのですが、どの作文も素晴らしく、聞いていてとても感動いたしました。こども体験事業の発表もよくまとまっていて、時間がない中でも頑張ったことがよく分かりました。

また、今年下福田中学校3年生の女子生徒3人が、マイクを持って進行の全てをしてくれたのですが、堂々とした態度で、大人顔負けの素晴らしい司会進行でした。子どもたちから元気をもらった大会でした。

23日には、詩吟連盟の秋季吟詠大会がございました。芸術文化ホールのサブホールで開催されたのですが、ほぼ満席で、活気ある発表会となっております。

25日には、緑野小学校で研究発表がございました。平成27・28年度の2年間、大和市ふれあい教育実践研究の指定を受けて取り組んできた緑野小は、「自ら考え、伝え合う、心豊かな子をめざして」という研究テーマを掲げ、算数の授業を通して、思考力、判断力、表現力の育成を図ってまいりました。公開授業を見て、それぞれの学年で、学習課題の提示や主体的な学習を導く工夫がなされており、生き生きとした授業が展開できているように感じました。

また、南林間中学校は28日に、情報教育推進校として、やはり2年間研究に取り組んできた成果を発表いたしました。分かる授業を進めるために、いかにICT機器を活用するかということが研究の主題ですが、教科ごとにICT機器が効果的に使われていたと思います。

中学校は、小学校と違って、電子黒板の導入が一部の教室にとどまっております。今後の情報教育の推進を考えますと、中学校のICT機器を更に充実させることが、現在導入されているタブレット型PCなどのより一層の活用に結びつくように思いました。普通教室へのプロジェクターの配備など、今までとは違った角度から検討していきたいと思っております。

研究を推進してきた2校の教員たちの苦勞に、感謝したいと思います。

11月26日には、クリーンキャンペーンとして、駅前クリーン活動が市内8駅の周辺で行われました。この活動は、大和市青少年健全育成街頭キャンペーンを兼ねており、私は大和駅前に参加いたしました。当日は、

石川委員にもご参加いただき、ありがとうございました。ごみを拾っていると、たばこの吸い殻が多く目につき、子どもたちよりも、まずは大人のマナーを変えていかなければならないようにも感じました。

30日には、中一ギャップ検討委員会が行われました。中学校と小学校の代表の校長を中心に、中一ギャップの解消を目指して発足したもので、現在2年目ですが、全ての学校で小中の連携が確実に進んでおります。特に、中学校入学後、学習についていけない子どもたちをどうケアしていくのかということが、大きな課題として話し合われております。

そのような中で、中学校では、入学後に算数など限定した教科の確認テストを行い、つまずきを早く発見するとともに、その結果を小学校にもフィードバックして、今後の指導に役立ててもらうなどの取り組みが広がり始めております。複数の小学校から中学校に進学することから、なかなか難しい面もありますが、校長たちが中学校区ごとに情報交換会や打ち合わせを持つなど、小中連携に対する意識は大きく向上していると思えます。効果のある実践を積み重ねていってほしいと思っております。

12月2日には、大和市体育協会の納会が行われ、参加させていただきました。この1年、各競技団体には子どもたちがお世話になり、そのお礼を申しあげました。

3日には、教育研究所主催の「冬のおもしろ科学館」が開催されました。詳しい報告は後ほどございますが、初めての、シリウスを会場としての開催でした。良かった点や課題とする点など、次回につながる多くのことがあると思えますが、全体としては、今回も多くの子どもたちが訪れ、熱気あるイベントになったと思えます。

10日には、安全なまちづくり推進大会が、保健福祉センターで開催されました。ポスターの優秀作品の表彰が行われましたが、今年も多くの子どもたちが応募してくれたことを嬉しく思いました。

11日には、芸術文化ホールで行われた、やまと第九「大和から世界へ響け！ 歓喜の歌」を鑑賞させていただきました。やまと国際オペラ協会の呼びかけで集まった市民の皆様が、やまと国際フィルハーモニー管弦楽団と第九合唱団を編成して上演されたもので、会場も満員となり、とても立

派で素晴らしい演奏会でした。たくさんの市民の方が集まって、一つのものを創り上げようとするエネルギーに感動いたしました。シリウスが完成したことで、市民の皆様の思いの集まる場所ができたように感じました。

次に、12月市議会第4回定例会一般質問に関する報告をさせていただきます。今回は、12人の議員からご質問をいただきました。

国兼議員からは、いじめのない社会について、本市のいじめ・不登校への取り組みや、スクールソーシャルワーカーが扱うケース数などのご質問がございました。

いじめ・不登校共に、未然防止・早期対応が大切であり、一人の教職員が抱え込むのではなく、組織的に対応することが必要です。教育委員会といたしましては、学校との連携強化を図り、全ての子どもたちが楽しい学校生活を送れるように努めていくこととお答えいたしました。

また、スクールソーシャルワーカーにつきましては、学校や関係機関と協力し、複雑な家庭環境の調整などの役割を担っており、不登校を含めたスクールソーシャルワーカーがかかわるケース数は、平成25年度は73件、26年度は96件、27年度は133件と、過去3年間において増加していることなどをお答えいたしました。

山崎議員からは、地域公共交通に関する学習内容についてと、新しい学習指導要領に向けた教員のあるべき姿についてのご質問でした。

地域公共交通に関しては、小学3年生の社会科の授業で、教育委員会が作成している副読本「やまと」を使って学んでおりますが、「のろっと」や「やまとんGO」を題材に、地域公共交通を、交通弱者対策としての役割を担っているとの視点から考えることも重要であると捉えており、今後も学習を進めていきたいと考えていることとお答えいたしました。

次期学習指導要領に向けましては、教員一人一人の力が余すところなく発揮されるよう、教育委員会としては、訪問研修等の様々な研修を実施することで、今後も必要な環境の整備に努めてまいることとお答えしました。

高久議員からは、通学路の安全対策等、集団登校に関するご質問でし

た。各小学校では、PTAが中心となり、学区内の危険箇所の点検を行っており、その結果に基づいて作成した改善要望書を、教育委員会に提出していただいております。これらの改善要望は、速やかに所管の部署や関係機関と情報を共有し、協力して通学路の安全対策を図っていることを答弁いたしました。

町田議員からは、児童の読みに関する課題について、MIM（多層指導モデル）を導入してはどうかというご意見がございました。低学年児童の場合は特に、学習を進めるにつれて、新しい言葉や表現に出会うことが多く、本市においても、言葉の意味理解や発音などに課題のある児童がおります。こうした児童に対しては、スクールアシスタントによる個別指導を行ったり、言葉の教室につなげたりと、児童の実態に合わせ、段階的な学習の場を用意しております。また、今年度2学期から、林間小学校のこどばの教室で、MIMの活用を始めており、その効果を踏まえた上で、こどばの教室や通常の学級への導入について検討していくことをお答えいたしました。

鳥淵議員からは、学校における平和学習についてと、教職員のメンタルヘルスにかかわってご質問がございました。

各学校においては、授業の中で平和に関する物語を読むことや、講演会で話を聞くこと、歴史から平和について考えたり背景などを調べたりすることで、子どもたちが平和について主体的に学び、実践的な態度が身につくよう、工夫して取り組んでいます。これらの取り組みを通して、次代を担う子どもたちが国際社会の一員として、平和について自主的に考える力を身につけ、よりよい未来を切り拓いていくことを期待しており、今後も様々な学びの機会を提供し、支援してまいります。

教職員のストレスチェックにつきましては、今年度から取り組んでおり、現在、本市の小中学校全校に勤務する県費負担の教員、学校栄養職員、学校事務職員に、厚生労働省推奨のチェックシートを使用し、実施しているところです。実施後は、外部の相談窓口や医師からアドバイスや指導を受けることができます。また、学校別などの集団分析を行っており、その結果につきましては、相談しやすく働きやすい環境づくりに活用して

いくことをお答えいたしました。

金原議員からは、小学生の暴力行為と、読む力にかかわってのご質問でした。

文部科学省の問題行動等調査における小学生の暴力行為は、全国的にここ数年、増加傾向にあります。自分の思いがうまく伝わらず、友達や教師に対して暴力に訴えてしまう傾向が見られ、特に1、2年生の低学年での増加が著しくなっています。原因としては、環境の変化等への適応力や規範意識の低下、人間関係の希薄化、家庭環境などが考えられますが、憂慮すべき状況と認識しております。解決に向けては、未然防止と早期対応が重要と考えており、教職員の共通理解のもと、組織的な支援を行っていくとともに、家庭との連携を密にして、子どもたちが互いを大切にし、尊重し合える学校づくりに努めていくことが重要であることなどをお答えいたしました。

また、読む力につきましては、社会環境の著しい変化や人工知能などの技術革新が予想される中で、子どもたちが主体的に社会に参加するためには、幅広い教養と深い専門性を身につけるとともに、既成の概念にとらわれない創造力を培うことが重要です。そのためには、論理的、批的思考力や判断力、相手に応じた表現力が不可欠であり、読書を通じた活動は、その育成に効果的であると言われていることから、本市では学校図書館教育の充実に力を入れてまいりました。さらに、今年度から各学級へ新聞の配架を予定しており、子どもたちの読む力につながる学力の育成や社会事象に対する興味関心を喚起するとともに、多面的・多角的な判断力が育成されることを期待していることなどをお答えいたしました。

中村議員からは、文教市民経済常任委員会の委員で視察した秋田市及び男鹿市の取り組みから、中学校準備教室や市独自の「学力テスト」の実施などのご提案をいただきました。

中学校入学前の学習、友人関係、身体の発育などの様々な不安、また中学校卒業前の進路や将来に対しての悩みの問題には、多くの児童生徒が直面します。本市では、学習や進路については、放課後寺子屋やまとや、中学校の少人数指導、学習支援員、特別支援教育スクールアシスタントによ

り、きめ細かいサポートをしております。

教職員の研修にかかわっては、今年度から訪問研修として、全小中学校に指導主事が出向き、学力向上と児童生徒指導についての研修を行っており、意見交換も交え、疑問や課題を解決しながら進めることができるため、効果的な研修方法であると捉えております。また、教科等の専門研修につきましては、小中学校教育研究会の各教科部会が、それぞれ授業参観や協議会を行っているほか、教育研究所が教科ごとの授業力向上研修を実施していることをお答えいたしました。

家庭学習につきましては、各学校で家庭学習ノートを作成するなど、それぞれ工夫した取り組みを行っております。今後も、子どもたちが互いに学習の成果を確認し合える場について、男鹿市の家庭学習展も参考にしながら、調査研究してまいります。

本市独自の「学力テスト」につきましては、現在は行う予定はございませんが、教育委員会では、学力調査の市独自の分析結果を各校に周知し、授業改善や児童生徒指導等で活用できるようにしているほか、明らかになった国語と算数の課題は、「大和市基礎基本プリント」として教材化し、各校に提供していることなどをお答えいたしました。

中村議員からは、福島県からの避難児童生徒に対するいじめに関しても、質問がございました。

横浜市で起きたいじめの重大事案は、本市でも大変重く受け止めており、決して起きてはならないことであると認識しています。

現在市内には、東日本大震災により福島県から避難した小中学生が16名在籍しており、これらの児童生徒に対しては、転入当初から特に配慮しながら接してきました。今回も、横浜市の報道を受け、直ちに在籍する小中学校に、いじめの有無や本人の様子について確認したところ、学校からは、普段どおり元気に学校生活を送っているなど、横浜市のようないじめ事案はないとの報告を受けております。また、校長会において、避難してきた児童生徒の様子を改めて確認し、継続的な見守りを行うことや、教育面談などを通して、家庭とも連携しながら、状況を把握していくよう指示していること、必要に応じて相談員やスクールソーシャルワーカーの派遣

など、心のケアを行う環境を整えていることなどをお答えいたしました。

古谷田議員からは、通学路の安全対策に関するご質問でした。

各学校では、P T Aが中心となって、学区内の通学路の安全点検を行い、改善が必要な箇所に対する要望書を教育委員会に提出していただいております。教育委員会では、速やかに関係機関と内容の共有を図っております。また、日ごろから自治会やP T Aが、登下校時に通学路の見守り活動を実施するなど、家庭、地域、学校が協力して、児童生徒の登下校時の安全確保に努めていることをお答えいたしました。

佐藤大地議員からは、いじめ対策についてのご質問でした。

市立小中学校のいじめの認知件数は、平成25年度が178件、26年度が209件、27年度が220件となっており、小学5年生から増加し、6年生をピークに減少していく傾向が見られます。また、小中学校とも、認知されているいじめにおいては、悪口や冷やかしが最も多く、中でもインターネット上での誹謗中傷等のいじめが小学5年生から見られ、中学校でその割合が高くなっております。

福島県から避難している児童生徒に対しましては、児童生徒が受けた心身への多大な影響や、慣れない環境への不安感等を教職員が十分に理解した上で、被災した児童生徒が安心して学校生活を送れるように配慮することを各学校に指導しております。いじめ対応の基本は、被害者の保護であり、学校では児童生徒のささいな変化や出来事に気づき、被害者の心身の苦痛を受け止め、児童生徒が安心して学校に通えるよう、教育委員会をはじめとして、関係機関と共通認識を持って、組織的に対応していくことをお答えいたしました。

石田議員からは、T P Pに関して、給食の食材の安全性に関する質問がございました。

国は、T P P協定により、学校給食における地産地消への取り組みや、遺伝子組換え食品等の表示など、日本の食の安全性に関しての制度変更は行わないとしております。教育委員会といたしましては、今後も国の動向を注視し、情報収集を行いながら、安全な学校給食の食材確保に努めていくことをお答えいたしました。

佐藤正紀議員からは、各学校で行っている芸術鑑賞を集約的に招致できないかというご質問でした。

市内小中学校では、毎年、優れた文化芸術に触れ、豊かな情操教育の充実を図ることを目的に、芸術鑑賞を実施しております。昨年度、小学校では、音楽鑑賞を13校、演劇鑑賞を5校、伝統芸能鑑賞を1校、中学校では、音楽鑑賞を5校、演劇鑑賞を1校、伝統芸能鑑賞を3校で行いました。また、本年11月3日に開館した文化創造拠点シリウスに、本格的な芸術文化ホールやサブホールを備えていることは、多くの児童生徒が同時に芸術鑑賞できる環境が整ったことであり、教育現場にとっても大変喜ばしいことと受け止めております。教育委員会といたしましては、著名な芸術家の公演を複数の学校で同時に鑑賞するなど、積極的にシリウスを活用して、子どもたちに優れた芸術鑑賞の場を提供していくことを答弁いたしました。

小田議員からは、平成28年度の全国学力・学習状況調査の結果分析と、小中連携に関してのご質問がございました。

学力向上につきましては、平成25年度の調査開始以来、基礎基本の知識の定着や学習習慣の確立、学力の下支えとなる教育環境の整備等を課題とし、教育委員会として様々な取り組みを行ってまいりました。平成28年度の本市の結果は、小中学校の各教科とも全国平均及び神奈川県平均には達しておらず、根拠を明確にして自分の考えを書くことや、グラフ、図形などの与えられた情報から特徴を捉えて判断することなどの課題があります。しかしながら、経年の結果では、児童生徒の正答率の幅が狭くなってきていることや、基礎基本の学力に改善傾向が見られることから、学力の底上げが着実に図られてきていると判断しております。学力向上に関しましては、いまだ道半ばであり、今後も取り組みを継続していくことが重要であると考えていることなどをお答えいたしました。

小中連携につきましては、昨年度から鶴間中学校が、小・中学校連携実践研究推進校として、林間小学校を協力校に置き、2年間の研究を開始しています。また、他の学校においても、出前授業や部活動の交流、中学校のテストの分析結果を小学校にフィードバックする取り組みなど、いわゆ

る中一ギャップの解消や、学力向上に向けた小中連携を進めていることなどをお答えいたしました。

報告の最後に、次月定例会までの主な日程について触れさせていただきます。

25日には、大和市文化祭一般公募展の表彰式が行われます。

26、27日の二日間で、管外から大和市へ転任を希望している教職員の面接を行います。

28日は、今年の仕事納めということで、市内の教育機関を回り、1年間のお礼をお伝えいたします。

年が明けまして、1月5日には、本市の新年賀詞交歓会が大和スポーツセンターで行われます。

新春を飾る恒例行事である大和市駅伝競走大会と消防出初式は、8日の日曜日に行われます。寒さに負けない熱気が楽しみです。晴れやかな天気になるよう祈っております。

同日、シリウスで行われております、いけばな諸流展ものぞかせていただく予定でございます。

1月9日には、成人式が予定されています。今年も教育委員の皆様と新成人を祝いたいと思います。

11日には、フィルムコミッション事業報告会が予定されております。

15日には、手をつなぐ育成会の新春を祝う会に参加させていただきます。

25日には、大和市防災会議が予定されております。

私からの報告は以上でございます。

ただいまの報告に関しまして、質疑または補足等がございましたら、お願いいたします。

○石川委員 私は、緑野小学校と南林間小学校の研究発表会に参加した感想を述べさせていただきます。

両校とも、教員の皆さんが本当に一生懸命授業をしており、こういう授業がずっと続けばよいと、感動いたしました。また、ほかの学校から、授業見学や研究会への参加で来ていた教員たちも、後の分科会等で、それぞ

れの意見を活発に発言しており、参加することで勉強になるということが、研究発表会の役割の一つであると感じました。これまでの自分の授業を振り返る機会にもなっただろうと思います。ここで得た実践を市全体に広げていってもらえたらと思いました。

また、研究発表をした学校の皆さんは、ここまで本当に努力され、大変だったと思いますが、それが必ずそれぞれの力になっていくので、とても素晴らしいことだと感じました。

以上です。

○鈴木 委員 12月3日に、冬のおもしろ科学館2016に行きました。後ほど報告があるということですが、感想を述べたいと思います。

文化創造拠点シリウスの6階の生涯学習センターで開催されましたが、開始時刻前から親子連れなどが、期待に満ちた表情で列を作っていました。

内容も素晴らしく、楽しむことができましたが、残念だったのは、今まで行っていたサイエンスショーが実施できなかったことです。今後はぜひ復活を検討してほしいと思います。また、もう少しPRを工夫して、このおもしろ科学館へ、たくさんの方に足を運んでいただければと思いました。

○青蔭 委員 教育長からお話がありましたが、11月17日に神奈川県市町村教育委員会連合会研修会を開催し、県内の教育長、委員の皆様にお集まりいただきました。講師の藤田先生には、本市が邁進してきた学校図書館の整備と活用についてお話しいただき、他市の方から、よくここまで先んじてやってきたとお褒めいただいたところでございます。

一方、この開催に当たり、事務局職員の皆さんは多忙の中、連日準備に追われ大変だったことと思います。当日もそれぞれが役割をこなし、無事終了されたことに、改めて御礼を申し上げたいと思います。

それから、11月19日に開催された青少年健全育成大会では、作文を朗読した高校生が素晴らしく、大変印象に残りました。自身の原稿を下に置いて見ず、しっかりと前を向いてお話しされていました。また内容も、戦時中自分の心を吐露することが許されなかった学生たちが、母や国を思

いながらも、自分の青春を犠牲にしていることの葛藤を、短歌を通じて表現していたことに触れ、自身の短歌も織り込み、見事にまとめられていました。すぐこの高校にお電話し、ぜひお褒めの言葉を伝えていただきたいと申し上げました。

家へ帰ってからも、何回かその作文を読み直しました。このような表現を持って時代を切り取り、大切なことを伝えることができる子もいるのだということに大変感激しました。教育に携わる者として、身の引き締まる思いがいたしました。以上です。

○柿 本 ありがとうございました。

教育長 よろしいでしょうか。

ほかにないようでしたら、ただいまの報告に対する質疑を終了させていただきます。

◎議 事

○柿 本 それでは、議事に入ります。

教育長 日程第1（議案第58号）「大和市奨学生選考審査会委員の委嘱について」を議題といたします。

細部説明を求めます。犬塚学校教育課長。

○犬 塚 大和市奨学生選考審査会委員1名の辞職に伴い、新たな後任者に残りの学校教育
課 長 在任期間を委嘱することになります。

同委員は、大和市奨学生選考審査会規則第2条によりまして、民生委員の代表者1名、市立小学校の校長又は教頭の代表者1名、市立中学校の校長又は教頭の代表者1名、合計3名からなっております。それぞれの選出母体からの推薦によるものでございますが、今回の委嘱は、民生委員の代表の方が民生委員を辞職されたことにより、改めて民生委員の代表の方を1名委嘱するものでございます。

説明は以上です。

○柿 本 細部説明が終わりました。

教育長 質疑に入りますけれども、質疑の際には、個人情報にご配慮いただくよ

うにお願い申し上げます。

それでは、質疑、ご意見等ございましたらお願いいたします。

○青 蔭 しかるべきご推薦をいただいた方でございますので、これでよろしいと
委 員 員 員 思います。

○柿 本 ほかには、よろしいでしょうか。

教育長 ほかにないようでしたら、質疑を終結いたします。

これより議案第58号について採決いたします。

本件の原案について、ご異議ございませんか。

(「異議なし」の声)

○柿 本 異議なしということで、議案第58号は可決いたしました。

教育長 続いて、日程第2(議案第59号)「平成28年度大和市教育委員会表
彰被表彰者の決定について」を議題といたします。

細部説明を求めます。大下教育総務課長。

○大 下 本件は、大和市教育委員会表彰規程に基づき、教育委員会所管の団体や
教育総務 個人に関する功労、功績などを表彰するためにご審議いただくものでござ
課 長 います。

表彰候補者は、こども部長、文化スポーツ部長、教育部長からなる教育
委員会表彰候補者審査会を12月12日に開催し、審査、選考しております。

表彰の対象者は、大和市教育委員会表彰規程第2条、同表彰規程実施要
領第1条に規定しており、これらに基づき選定いたします。

次に、個々の候補者についてご説明いたします。ご審議の際は、氏名等
の個人情報にご配慮いただきたく、お願いいたします。

平成28年度大和市教育委員会表彰被表彰候補者一覧表の1番目から7
番目は、要領第1条第2号功労表彰オに該当し、学校医、学校歯科医及び
学校薬剤師として10年以上在職し、その業績が顕著な方々でございま
す。

8番目は、要領第1条第2号功労表彰イに該当し、社会教育振興のため
に、青少年相談員として10年以上にわたり貢献し、その業績が顕著な方
でございます。

9番目、10番目は、要領第1条第2号功労表彰アに該当し、社会教育関係団体の育成発展のために、子ども会連絡協議会や母親クラブ連絡協議会の役員として、10年以上にわたり貢献し、その業績が顕著な方でございます。

11番目から16番目は、要領第1条第2号功労表彰イに該当し、社会教育振興のために、青少年指導員として10年以上わたり貢献し、その業績が顕著な方でございます。

17番目は、要領第1条第1号功績表彰カに該当し、文化活動等で関東大会水準以上の場で優秀な成績を収めた団体でございます。

18番目は、要領第1条第2号功労表彰ウに該当し、社会教育関係団体として、多年にわたり会員の資質向上と運営改善に努め、社会教育の振興に貢献された団体でございます。

19番目から27番目は、要領第1条第1号功績表彰オに該当し、スポーツに係る関東大会以上の競技会で優秀な成績を収めた方々でございます。

28番目から39番目は、要領第1条第2号功労表彰アに該当し、社会教育関係団体の育成発展のために、市の種目別の協会役員として、10年以上にわたり貢献し、その業績が顕著な方でございます。

40番目から54番目は、要領第1条第2号功労表彰イに該当し、社会教育振興のため10年以上にわたり、社会体育振興委員などとして貢献し、その業績が顕著な方々でございます。

以上、51名3団体が、平成28年度大和市教育委員会表彰候補者として推薦されてございます。

なお、表彰式は、来年2月26日日曜日に、文化創造拠点シリウスサブホールで実施を予定しております。

説明については以上でございます。

○柿本

細部説明が終わりました。

教育長

質疑の際は、個人情報に配慮いただき、被表彰候補者一覧表の左端のナンバーでお願いしたいと思います。

それでは、質疑、ご意見等ございましたらお願いいたします。

では、石川委員、お願いします。

- 石川委員　今回表彰される候補者については、全く異議はございません。ただ、ここに並ぶ皆様を拝見しますと、どこかの団体に属していらっしゃる方がほとんどであるようにお見受けします。スポーツの功績表彰の方も学校やスポーツ教室等に属し、また功労表彰の分野の皆様も、青少年指導員や社会体育関係団体の方で、母体となる団体に推薦をお願いしているのしょうから、遺漏なく表彰できるように思います。反面、個人の方はあまり出て来にくい仕組みになっているのかもしれませんが。そういう中にも、表彰すべき方々はいらっしゃるのではないかと感じますので、その辺のフォローを今後どうしていくか、考える必要があるように思います。

以上です。

- 柿本教育長　ご意見をいただきました。課題として、考えてまいりたいと思います。ほかはいかがでしょう。よろしいですか。

（「はい」の声）

- 柿本教育長　ほかにないようでしたら、質疑を終結いたします。これより議案第59号について採決いたします。本件の原案について、ご異議ございませんか。

（「異議なし」の声）

- 柿本教育長　異議なしということで、議案第59号は可決いたしました。続いて、日程第3（報告第3号）「工事請負契約の締結について」を議題といたします。

細部説明を求めます。大下教育総務課長。

- 大下教育総務課長　本件は、大和市教育委員会教育長に対する事務委任等に関する規則第2条第2項の規定により、教育長が事務を臨時に代理いたしましたので、同条第3項の規定により報告し、承認を求めるものでございます。

市議会の議案書を添付しておりますが、市立渋谷小学校大規模復旧防音・改修工事（建築）について、次のとおり工事請負契約を締結したいので、議決を求めるというものでございます。

契約の方法は、条件付一般競争入札。契約の相手方は、櫻内・古木特定建設工事共同企業体。契約金額は、5億3,541万円。工事場所は、大

和市立渋谷小学校です。

こちらに関しましては、同じく渋谷小学校の大規模改修に係る電気工事の請負契約締結について、11月定例会の議案第57号においてご審議いただきました。その際に、工事概要についてはご説明させていただいているところでございます。

本来であれば、本契約の締結は教育委員会会議への付議事項に該当し、11月定例会に、電気工事と合わせてこの建築工事の契約に関しても提出する予定でございましたが、入札が不調となったため、間に合いませんでした。再入札を行ったところ落札されましたので、11月24日の市議会本会議初日に追加議案として提出するために、先ほど申し上げた教育長による事務の臨時代理として対応させていただいたものでございます。

なお、文教市民経済常任委員会において、電気と建築を合わせて提出し、12月の本会議で了承を得ております。

以上でございます。

○柿本 細部説明は終わりました。無事に入札が済んだということでございますが、質疑、ご意見等ございましたらお願いいたします。

○石川 質問ですけれども、この設計金額は、前回の入札のときと、基本的には同じなのでしょうか。

○大下 本来であれば、再入札をする際には、設計等を変えて臨むことが多いのですが、前回落札できなかった理由が、最低制限価格を下回ったためでしたので、今回はこちらの設計等を変えずに再入札を行いました。

予定の工期があり、この12月議会ですべて承らなければ、それがかなり遅れて、学校運営に支障を来すということも勘案し、設計変更はせず迅速に再入札を行い、おかげさまで落札を得たという状況でございます。

○石川 分かりました。結構です。

委員

○青蔭 本件について、決まったことに関して異議はございません。

委員

一般的に言って、設計と施工は別であると思いますが、普段からそれぞれ、いろいろなことを請け負っているでしょうから、お付き合いはあると

思います。設計が先になされ、それに基づき工事の入札をしたら不調になったので、再度設計をし直して決まるということは、本市の中で今までにありましたか。

○大 下 ご質問の答えとして適うか分かりませんが、設計変更をして金額も変更
教育総務 したうえで再入札を行い、それで決まるということとはございます。

課 長 工事を発注する際は、委員がおっしゃったとおり、先に実施設計を業者に
に依頼します。その内容を基に設計金額を算出し、その後に入札が行われ
ます。入札は、条件付一般競争入札ですから、いろいろな業者が札を入
れ、その中で価格が一定の範囲の中で最も低い業者に決定します。低けれ
ば良いというわけではなく、先ほど言いましたように最低制限価格を設定
しますから、それ以上である必要もあり、すべての業者が最低制限価格を
下回った場合も不調となってしまいます。工事の安全性や納期を守れるか
といったことも大切であり、安かろう悪かろうでは困りますので、最低制
限価格というのはやはり必要です。このように、いろいろな条件が合わな
ければ再入札となりますが、最近多くなっています。

ただ、再入札となる場合が増えていても、予定の工期等がございませ
ので、今回のように何とか間に合わせるよう調整を工夫しているところで
ございます。

○青 蔭 分かりました。落札するために、無理に業者が価格を抑えることがあつ
委 員 てはいけないと思います。

ところで今回の業者は、なぜ今まで上がってこなかったのでしょうか。

○大 下 こちらの業者につきましては、先に行われ不調となった入札においても
教育総務 札を入れておりました。その上で、今回は、最低制限価格を上回った中で
課 長 入札が成立し、こちらが落札したということでございます。

○青 蔭 結果については異論はありませんが、工期に限られる中、決まらないこ
委 員 とには先に進みません。ですから、再入札ということが往々にして行われ
ているとしたら、あまりぎりぎりになってしまうと、何か邪推されることが
ないとも限りませんので、金額その他諸々の条件をもう少し精査した方
がよいのでは、という気がいたします。

○大 下 今のご意見につきましては、契約を主管する契約検査課にも伝え、よく

教育総務 検討させていただきます。先ほどお話ししましたように、最低制限価格を
課 長 設けないと、労働条件や工事の安全性等を確保できないということもござ
います。ただ、委員のお話もございますので、契約検査課と相談しながら
適切に行ってまいります。

○柿 本 ほかに、いかがでしょうか。
教育長 ほかにないようでしたら、質疑を終結いたします。
これより、報告第3号について採決いたします。
本件を承認することに、ご異議ございませんか。

(「異議なし」の声)

○柿 本 異議なしということで、報告第3号は承認いたしました。
教育長 次に、日程第4(報告第4号)及び日程第5(報告第5号)ですが、議
事運営上、日程を変更し、その他の後に審議することといたします。

◎その他

○柿 本 それでは、その他に入ります。
教育長 各課での報告事項について、順次報告してください。
初めに、通学路の安全対策に係る要望とその対応状況について。犬塚学
校教育課長。

○犬 塚 大和市教育委員会の会議における報告事項に関する申合せに基づく報告
学校教育 です。
課 長 通学路について、9月12日に緑野小学校から要望を受けていたもの
に
対し、対応結果を11月24日に受理いたしました。
以上です。

○柿 本 この件について何かございますか。よろしいですか。
教育長 それでは続いて、冬のおもしろ科学館2016の実施報告について。
竹中教育研究所長。

○竹 中 それでは、先ほど鈴木委員からもお話をいただきました「冬のおもしろ
教育研究 科学館」について、実施報告をさせていただきます。
所 長 この事業は、子どもたちに科学の楽しさを感じさせ、科学技術への夢を

育むことを目的とした、教育研究所の理科教育の推進事業の一つとして、市内外の参加団体の協力を得て、10年前から実施しているものです。

12月3日土曜日の午前10時から午後3時まで、文化創造拠点シリウス6階生涯学習センターにて行いました。来場者数は598人と、昨年より若干減りましたが、大勢の親子連れ、子ども同士のグループなどが参加してくれました。

科学体験ブースの出展にご協力いただいた団体は、全部で9団体です。日産自動車と学研が、今年度、初めての参加となりました。中学校も3校参加してくれ、また上和田小学校からは、8人の教員に参加いただきました。

各団体は、シリウスの各部屋に分かれ、ヘリコプターの飛ぶ仕組みについて、また「ふれあいミニ水族館」「くるくるレインボー」「見て、聞いて、さわって、作って楽しむ科学実験コーナー」「わくわくエコスクール」など、科学や生物の不思議を学んだり探求したり、また体験できる、工夫されたブースを展開してくださいました。

今回、初めてシリウスでの開催となりました。明るくきれいな会場で、各ブースの担当者や参加した中学生たちには、大変好評でございました。

運営面で、広報の方法や会場に分かりづらいところがあった等のご指摘をいただくなど、課題も残りました。次回以降に生かしていきたいと思えます。

運営スタッフといたしまして、教育研究所の所員のほか、市内小中学校の教職員やOB、近隣の大学生の協力を得ることができました。今回、大学生が8人来てくださり、大変助けていただきました。

参加者アンケートの結果として、「とても楽しかった」「たまたま来たらやっていたので参加して、楽しむことができました」といった感想や、中学生の頑張りに対する応援など、高い評価をたくさんいただくことができました。

また、出展者の方からは、「今回、初出展だったのだが、他のブースを見て参考にし、また参加してみたい」「他の出展者とのつながりができて、情報交換をすることができた」「横のつながりができてよかった」

「中学生に発表の場を提供していただいております」などの感想をいただきました。

当日は、事故やけがもなく、無事に目的を達成し、事業を終えることができました。

今後の予定といたしましては、来年度、夏と冬の土曜日に、同じくシリウスを使って開催する予定でございます。6階以外のフロアの利用などについても検討していきたいと考えております。来場する皆様に、同様に楽しんでいただけるよう、工夫してまいります。

以上で報告を終わります。

○柿本 ありがとうございます。
教育長 先ほど鈴木委員から、サイエンスショーについてのご意見がありました
が、その点についてはいかがですか。

○竹中 現時点では、来年の夏については、もう1回様子を見たいと考えていま
教育研究 す。先日、シリウス3階のマルチスペースを使って産業活性課が行ったロ
所 長 ボットフェスタを見学し、話を聞いたところ、やはり人の動線に難しい部
分があるとの感想でした。また会場を単純に分けるだけではなく、何か方
策が必要であろうと感じました。また、指定管理者との相談にもなるかと思
いますが、1階のみでサブホール、ギャラリーを会場とし、サイエンス
ショーを含めて実施できる方法はないかということも検討しております。

○柿本 今後、前向きに検討して行ってください。
教育長

○竹中 はい。ぜひ前向きに検討してまいりたいと思います。
教育研究
所 長

○青蔭 質問ですが、市外中学校で海老名市から2校、自然科学部が参加してく
委員 れています。他市は無いようですが、これは海老名市の方から参加したい
と要望があったのでしょうか、逆に大和市から依頼したのでしょうか。他
市の中学校には、自然科学部というものが存在するか存在しないか、分か
りませんので、教えてください。

もう一つ、市内の中学校も参加は上和田中学校のみですが、科学部は他

にないのでしょうか。

○竹中 私も初めの経緯については詳しく承知しておりませんが、もともと発表
教育研究 の場を探していた、現今泉中学校の顧問の先生から参加したいというお話
所 長 があったようです。現在は転勤されたのですが、元の海老名中学校にも、
また新しい顧問の先生が配置されたので、こちらも参加されたいとのこと
でした。

近隣の市については、確認はしておりませんが、指導主事による
教育研究所の会議の中では、事業を周知する中で参加の希望について声か
けはしているので、今のところ無いのではないかと思います。

市内でも、自然科学部は1校しかない状況でございます。

○青 蔭 せっかくこういうことを毎年やっていますので、他の中学校にも声をか
委 員 け、発表してもらえると、さらに良いと思います。もう少し門
戸を開く方法をお考えいただきたいと思いますので、よろしく願いいた
します。

○柿本 今年の夏には、先ほど話に出たサイエンスショーを、上和田中学校の生
教育長 徒が行ったことで大変好評でした。おそらく、委員の皆様のお考えとして
は、来場者に楽しんでもらうこともそうですが、出展側、発表する側にで
きるだけ子どもたちが、特に大和市の子たちがたくさん参加できるように
してほしいというご意見だと思います。また今後検討する中で、そういつ
た事も含めて考えてもらえたらと思います。

○鈴木 先ほど、広報に課題があるということでしたが、市外から来られている
委 員 方が27名となっています。どのような広報をしたのか教えてください。

○竹中 広報媒体としましては、広報やまとと、学校向けのチラシのほか、ホー
教育研究 ムページにも掲載し、それが市のトップページに表示されるようにいたし
所 長 ました。また、FMやまとでも宣伝させていただきました。

○鈴木 それでよろしいと思いますが、タイミングには課題が残るかと思いま
委 員 す。市民の皆様や小中学生には、早めに周知してもらえたらと思います。

○柿本 早めに、広くお知らせできるよう、次回に生かしてください。

教育長 ほかには、よろしいでしょうか。

では続いて、不登校を考えるフォーラムの実施について。中村青少年相

談室長。

○中 村 本市では、大和市学校教育基本計画の重点施策である、不登校やいじめ
青少年 問題の解消についての啓発及び市民、保護者等との意見交換をすることを
相談室長 目的とし、隔年で、不登校といじめについてのフォーラムを実施しております。

今年度は、不登校を考えるフォーラムを、来年1月28日土曜日の午後
1時30分から、シリウスのサブホールで開催いたします。

対象は、市民、保護者の皆様、教職員です。

内容ですが、前半は、毎年行っている「いじめ・暴力行為等防止ポスター」の表彰式を行います。後半は、基調講演として、文部科学省国立教育政策研究所生徒指導・進路指導研究センター総括研究官、中野澄先生をお招きし、不登校の未然防止、初期対応、自立支援についてお話しいただく予定です。

中野先生には、鶴間中学校にも今年度、何度かお越しいただき、PDCAサイクルをもとに、不登校の未然防止についての視点で助言をいただくなど、いろいろとお力添えいただいております。大変分かりやすくお話をいただけると思います。

当日、学校、保護者、地域が連携して、不登校について考える場となればと考えております。

以上でございます。

○柿 本 ありがとうございます。
教育長 この件については、よろしいですか。

(「はい」の声)

○柿 本 では続いて、第64回大和市文化祭について。樋田文化振興課長。
教育長

○樋 田 今年で64回目を迎える大和市文化祭を、12月13日から12月25
文化振興 日まで、シリウス1階ギャラリーで開催いたします。

課 長 会期については、今年度から第1期、第2期と2回に分けて開催しており、第1期が書道と写真の部門を12月13日から18日まで開催いたしました。

現在、第2期の絵画部門を20日から25日まで開催しております。

開催時間は、午前10時から午後4時までで、最終日の25日は午後3時までとなっております。また、25日には、大和市の一般公募展表彰式を開催する予定でございます。

以上でございます。

○柿本 この件について、特によろしいでしょうか。

教育長 では、続きまして、2017やまと成人式について。佐藤こども・青少年課長。

○佐藤 2017やまと成人式につきましては、前回の定例会において資料を配布し、概要についてお示したところでございます。その際お話ししましたとおり、今年度の特色として、シリウスにPRコーナーを設ける企画を考えており、今回、改めてご案内させていただきます。

成人式は、1月9日に大和スポーツセンターで執り行います。

対象は、新成人が2,207名で、昨年度より若干、対象人数は減っておりますが、参加率を考えると、例年どおり1,600名程度の来場者を見込んでおります。

協力団体は、青少年指導員連絡協議会ほか資料のとおりでございます。

本年度の特色としては、シリウスにおいて、成人式に関するコーナーを今回初めて設置します。スポーツセンターでのイベントとは別に、成人式を、大和市民の新しい財産であるシリウスを利用してPRするということ、実行委員会で企画しております。

一つ目、新成人にとって懐かしい図書、読んでほしい図書を配架したコーナーを1階に設置いたしました。次に、4階では、新成人にとって懐かしい20年の歴史のパネル展を設置しているほか、新成人へのお祝いメッセージを募集しております。また今回、新成人への案内状に、シリウスに行ったらスタンプを押してもらおうと、成人式当日、先着順で特典がもらえるような企画も盛り込んでございます。

先日完成したばかりでサンプルの用意が間に合わなかったため、こちらでご覧いただきたいと思っております。シリウス4階のパネル展では、こうした魅力ある大和の成人式を伝えるため、かなり大きなサイズで展示しており

ます。もう一つは、新成人の生まれてから20年の軌跡ということで、市内や国内での出来事を年表のような形で、絵を入れて紹介しております。

この成人式を機に、新成人にもたくさんシリウスに足を運んでいただけるよう、また一般の皆様にも、成人式をどのように行っているか知っていただくことと併せて、シリウスを訪れていただきたいという思いから、今回、このような企画をさせていただきました。

最後に、成人式については毎年、教育委員の皆様にもお越しいただいているところでございますが、私ども主管課といたしましては、特に安全確保には十分留意して対応してまいります。どうぞよろしく願いいたします。

以上でございます。

○柿本 教育長 ただいまの報告について、質疑、ご意見等ございますか。

○青蔭 委員 ご説明ありがとうございます。

今、最後に改めて安全面の確保のお話がありました。これまでも若干名ながら、成人式の日、会場に入らず外で集まっているような方もいました。パネル展を見て懐かしんでくれるような方がほとんどだと思いますが、そうではない方も当然いるわけですから、くれぐれもご留意いただきたいと思います。よろしく願いします。

○柿本 教育長 ほかには、よろしいでしょうか。

予定されている報告は以上ですが、ほかに事務局から何かございますか。

委員の皆様からは何かございますか。

特にないようでしたら、1月の会議の日程をお知らせいたします。

1月定例会は、1月26日木曜日午前10時からを予定しております。

続きまして、先ほど日程変更いたしました日程第4（報告第4号）及び日程第5（報告第5号）については、非公開とすべき人事案件として、審議を非公開としたいと思いますが、ご異議ございませんか。

（「異議なし」の声）

○柿本 異議なしということで、日程第4（報告第4号）及び日程第5（報告第

教育長 5号) は、非公開といたします。

関係者以外の退出をお願いいたします。

なお、関係者としては、教育部長、教育総務課長、保健給食課長、指導室長を指定いたします。

それでは、暫時休憩といたします。

(休 憩)

(非公開の審議)

◎閉 会

○柿 本 以上で、本日の日程は全て終了いたしました。

教育長 これにて教育委員会12月定例会を閉会いたします。

閉会 午前11時18分